

団体の戦士としての花嫁

聖書：エペソ 6:10-20

I. エペソ第 6 章 10 節から 20 節は、花嫁が団体の戦士であり、神の王国のために神の敵と戦うことを啓示しています：

- A. 勝利を得た、キリストの愛する者は、神と一になって神の住まいとなると、神の目に美しいことテルザのようであり、愛すべきことエルサレムのようです。しかしながら、敵にとって、彼女は恐ろしいこと旗印を持った軍隊のようです——雅 6:4：
1. 旗印は戦う準備ができていることを示しており、また勝利が得られたことのしるしでもあります。恐ろしい軍隊が表徴するのは、主の勝利者が神の敵であるサタンを恐れさせるということです。
 2. この軍隊は、神の民が墮落したとき、主の召しに応じる勝利者となって、神の王国のために戦います（啓 2:7, 11, 17, 26. 3:5, 12, 21）。最終的に、勝利者は団体的に花嫁となってキリストと結婚します（19:7-9）。彼らの婚礼の後、この花嫁は軍隊となって夫であるキリストと共に戦い、反キリストと彼のすべての追従者を打ち破ります（11-21 節）。
- B. 召会は花嫁として、実は神の意図の中にある団体的な人であり、神を表現し、神の敵を対処するという二重の目的を成就します——創 1:26。
- C. 神の永遠の定められた御旨が成就され、キリストの心の願いが満たされなければならないだけでなく、神の敵が打ち破られなければなりません。このために、召会は戦士でなければなりません。
- D. わたしたちの歩みは、神の定められた御旨を成就するためです。わたしたちの生活は、キリストを満足させるためです。わたしたちの戦いは、神の敵を打ち破るためです——エペソ 4:1. 5:2, 8. 6:10-11。

II. 千年期におけるイエスの証しは、キリストの花嫁、すなわちキリストの共同の王である勝利者です——啓 19:7-9. 20:4, 6：

- A. 主の回復は、キリストの花嫁の用意を整えるためです（19:7-9. 21:2）。究極的に、わたしたちは同形化されて、すばらしいシュラムの女となります。シュラムの女は、ソロモンの複製として、キリストの配偶者、花嫁である新エルサレムの最大で究極的な型です（雅 6:13. 啓 21:2, 9-10. 22:17 前半）。
- B. シュラムの女は、神の目に、二つの陣営あるいは二つの軍隊（ヘブル語は「マハナイム」）の踊りのようです。ヤコブは、神の御使いたち、すなわち、神の二つの軍隊に会った後、自分のいた場所をマハナイムと名づけ、自分の妻たち、子供たち、所有を「二つの軍隊」に分けました——雅 6:13. 創 32:1-10：

1. この二つの軍隊の霊的意義は、わたしたちを愛してくださった方を通して、キリストのからだの原則にしたがって、わたしたちが勝ち得て余りがあり、「超越した勝利」であることの強い証しです——ローマ 8:37. 12:5. 申 32:30. 伝 4:9-12。
2. 神は、自分自身の中で強い者を欲しません。神はただ、脆弱^{ぜいじやく}な者、弱い者、女と子供を欲します。勝利者になるのにふさわしいと数えられる人は、主に依り頼む弱い人です——Ⅰコリント 1:26-28. Ⅱコリント 12:9-10. 13:3-5. 雅 8:6。
3. 神は彼と一である人、彼に服従し（編んだ髪で表徴される——雅 1:11）、柔軟な意志をもって彼に従う（宝石の首飾りのある首で表徴される——10 節）人を必要とされます。
4. わたしたちはどのように神聖な啓示の最高峰に到達するかを考察するとき、自分自身に信頼するのではなく、愛、力、あわれみである主に依り頼むべきです。そしてわたしたちはあわれみの器、尊い器、栄光の器とされます——ローマ 9:16, 21-23。

Ⅲ. 霊的戦いが必要であるのは、サタンの意志が、神の意志と対抗しているからです——エペソ 1:5, 9, 11. マタイ 6:10 :

- A. 神の意図、神の意志に加えて、第二の意図、第二の意志があります。なぜならサタンの意志が、神の意志と対抗しているからです——イザヤ 14:12-14。
- B. すべての戦いは、サタンの意志と神の意志の間の衝突にその源があります。
- C. 霊的戦いは、神の王国とサタンの王国の間の戦いです。天の王国が確立されるためには、霊的戦いの必要があります——マタイ 12:26, 28. 啓 12:11。
- D. わたしたちは、真理にしたがい恵みによって歩き、愛と光の中を生き、戦ってサタンの意志を征服します——エペソ 4:1. 5:2, 8. 6:12。

Ⅳ. わたしたちは神の敵を対処するために、キリストを死人の中から復活させ、彼を天上で、空中のあらゆる悪霊のはるか上に座らせた偉大な力で、力づけられる必要があります——エペソ 6:10. 1:19-22 :

- A. わたしたちが主の中で力づけられなければならないという事実が示しているのは、わたしたちがサタンと彼の邪悪な王国との霊的戦いを、自分の中で戦うことができないということです。わたしたちは、主の中におり、彼の力強い大能の中にいてはじめて、戦うことができます。
- B. 「力づけられなさい」との命令は、わたしたちの意志を活用する必要があることを暗示します。霊的戦いのために力づけられようとするなら、わたしたちの意志が強く、訓練されなければなりません——雅 4:4. 7:4。

Ⅴ. 召会とサタンとの戦いは、主を愛し、彼の召会の中にいるわたしたちと、天上にいる悪の勢力との戦いです——エペソ 6:12 :

- A. 支配者たち、権威者たち、この暗やみの世の主権者たちは、反逆の天使たちです。彼らはサタンに従って神に反逆し、今や天上でこの世の諸国民を支配しています——コロサイ 1:13. ダニエル 10:20。
- B. わたしたちは、わたしたちの戦いが人に敵対するものではなく、悪霊、すなわち天上にいる霊の勢力に敵対するものであることを、認識する必要があります。

VI. 霊的戦いは、個人の事柄ではありません。それはキリストの花嫁が団体の戦士となる事柄です——エペソ 6:13 :

- A. 召会は団体の戦士であり、信者たちはこの団体の戦士を構成します。わたしたちは団体的に軍隊に形成された後、神の敵と戦うことができるようになります。
- B. 神の戦略は、神の軍隊としての召会を用いて、神の敵と戦うことです。サタンの戦略は、わたしたちを、神の軍隊としての召会から分離させることです。
- C. 神のすべての武具はからだのためであって、個人のためではありません。団体の戦士だけが、神のすべての武具を身に着けることができます。

VII. わたしたちは霊的戦いを戦うために、神のすべての武具を身に着ける必要があります——エペソ 6:11 :

- A. 神はキリストの中で、わたしたちの生活における実際として、霊的戦いのためにわたしたちの全存在を強める帯です——6:14 前半。
- B. 義の胸当ては、わたしたちの良心を覆い、わたしたちをサタンの訴えから守ります。この義の胸当ては、わたしたちの義としてのキリストです——14 節後半。I コリント 1:30。
- C. キリストは、わたしたちが神と一であり、また聖徒たちと一であるための平和です。この平和は、わたしたちが敵に敵対して立つことができるようにする堅固な土台です——エペソ 2:15. 6:15。
- D. 信仰は、敵の燃える火の投げやりに抵抗する盾です。キリストは、そのような信仰の創始者、また完成者です——16 節. ヘブル 12:2。
- E. わたしたちの思いを覆う救いのかぶとは、わたしたちが日常生活で経験する救いのキリストです——エペソ 6:17 前半. ヨハネ 16:33。
- F. その霊の剣（その霊は神の言葉です）は、わたしたちの攻撃の武器であり、わたしたちはこれをもって敵を粉碎します——エペソ 6:17 後半。
- G. 祈りは神のすべての武具を適用するための唯一の、極めて重要で、不可欠な手段であり、武具のあらゆる項目を、実際的に使用することができるようにします——18 節。

VIII. 神のすべての武具を身に着けることによって、わたしたちは悪魔の策略、邪悪な計画に敵対して立つことができます——エペソ 6:11, 13-14 :

- A. キリストと共に座ることは、彼が成就したすべてにあずかることです。キリストのからだの中で歩くことは、神の永遠の定められた御旨を成就することです。

キリストの力の中で立つことは、神の敵に敵対して戦うことです——エペソ 2:6, 4:1, 5:2, 8, 6:11, 13-14。

B. 敵と戦う中で、最も重要な事は立つことです。わたしたちはすべてのことをやり抜いた後も、最後まで立つ必要があります。

IX. わたしたちはみな、今日の主の回復の中で戦場にいることを見る必要があります。わたしたちは主と協力して、サタンの空中の勢力と戦うべきです。それによってわたしたちは、さらに多くキリストを獲得してキリストのからだを建造し、キリストの花嫁の用意を整え、神の王国を設立し、拡大することができます。こうしてキリストが戻って来て、地を受け継ぐことができるのです。

©2025 *Living Stream Ministry*